

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グリーンワーカー)事業		事業開始年度	平成13年度	作成責任者	
担当部局庁	自然環境局		担当課室	国立公園課	課長 上杉 哲郎	
会計区分	一般会計		上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の共生の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	自然公園法 第12条、第38条 自然環境保全法 第38条の2		関係する計 画、通知等	生態系維持回復事業計画 国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グ リーンワーカー)事業実施要領		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	国立公園等において、生物多様性保全等に関する社会的要請を踏まえ、生態系の維持回復のための総合的な取組により生物多様性保全を図るとともに、国立公園管理やサービスのグレードアップを図る。さらに、国立公園等が所在する山村・島嶼等において雇用を創出するとともに地域の振興に寄与する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	国立公園等(国立公園、国指定鳥獣保護地区、自然環境保全地域及びこれらと密接な関係にある周辺地域)の貴重な自然環境を有する地域において、自然や社会状況を熟知した地元住民等を雇用し、下記の①～⑤の事業を中心としたきめ細かな自然環境保全活動等を実施し、生物多様性の保全や国立公園等の保全管理水準のグレードアップを図る。①生態系の維持回復のための事業の推進、②登山道維持管理の強化、③地域景観の保全形成、④海岸漂着ゴミ対策、⑤その他の環境保全活動					
実施状況	本事業は、全国の29箇所の国立公園等の自然環境上重要な地域において、毎年200件以上の自然環境保全等に資するのための事業を実施し、地域住民等を延べ約20000人日以上を雇用している。本事業は地域社会に密着しており地元市町村等からの要望が多く、要望額が予算額を上回る状況である。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	300	388	270	270	
	執行額	292	265	345		
	執行率	97	68	128		
	総事業費(執行ベース)	292	265	345		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	本事業の実施に当たっては、自然保護官事務所が当該地域の住民や市町村等からの要望等を基に国立公園課に要望し、その要望事業について事業目的の早期発現や必要性、有効性等の観点から審査・検討して予算を配布している。 また、全国の国立公園等には、それぞれ地区毎に担当の自然保護官事務所があり、当該事業の執行に際しては、期間全体にわたって指導・監督に努めている。さらに、事業完了後は「国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グリーンワーカー)事業実施要領」に基づき個々の事業についての実績報告の提出を義務づけている。				
	見直しの 余地	各事業は概ね3年以内で完結させることとし、継続する必要がある場合は、本事業を通じて得られたノウハウと、国、関係自治体、地域住民、公園事業者、利用者及び学識経験者等の参画により確立された連携管理体制を活用し効率的に実施する。				
化予 算一 監 視 の ・ 効 率						
補 記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額)					
		19年度	20年度	21年度		
		0	0	125		

環境省
345百万円

釧路自然保護
官事務所
63.9百万円

A. (財)知床財団等
63.9百万円

生態系の維持回復のための事業、登山道強化、地域景観の保全形成、海岸漂着ゴミ対策、その他の環境保全活動

北海道地方環
境事務所
39.3百万円

B. (株)大建産業等
39.3百万円

生態系の維持回復のための事業、登山道強化、地域景観の保全形成、海岸漂着ゴミ対策、その他の環境保全活動

東北地方環境
事務所
36.0百万円

C. (財)自然公園財団十和田支
部等
36.0百万円

生態系の維持回復のための事業、登山道強化、地域景観の保全形成、海岸漂着ゴミ対策、その他の環境保全活動

関東地方環境
事務所
47.9百万円

D. 特定非営利活動法人小笠原
クラブ等
47.9百万円

生態系の維持回復のための事業、登山道強化、地域景観の保全形成、海岸漂着ゴミ対策、その他の環境保全活動

中部地方環境
事務所
17.6百万円

E. 丸文工業等
17.6百万円

生態系の維持回復のための事業、登山道強化、地域景観の保全形成、海岸漂着ゴミ対策、その他の環境保全活動

長野自然環境
事務所
21.5百万円

F. 立山黒部環境保全協会区黒
部支部等
21.5百万円

生態系の維持回復のための事業、登山道強化、地域景観の保全形成、その他の環境保全活動

近畿地方環境
事務所
26.9百万円

G. 吉野山保勝会等
26.9百万円

生態系の維持回復のための事業、登山道強化、地域景観の保全形成、海岸漂着ゴミ対策、その他の環境保全活動

中国四国地方
環境事務所
30.0百万円

H. (特)四国自然史科学研究セ
ンター等
30.0百万円

生態系の維持回復のための事業、登山道強化、地域景観の保全形成、海岸漂着ゴミ対策、その他の環境保全活動

九州地方環境
事務所
26.3百万円

I. 天草地域森林組合等
26.3百万円

生態系の維持回復のための事業、登山道強化、地域景観の保全形成、海岸漂着ゴミ対策、その他の環境保全活動

那覇自然保護
官事務所
35.6百万円

J. (株)南西環境研究所
35.6百万円

生態系の維持回復のための事業、地域景観の保全形成、海岸漂着ゴミ対策、その他の環境保全活動

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A. (財)知床財団			G. 吉野山保勝会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	知床国立公園及びその周辺部セイヨウオオマルハナバチ生息状況監視・防除体制構築業務	2.4	雑役務費	吉野熊野国立公園吉野山桜保全業務	3.4
雑役務費	知床世界遺産地域における利用の適正化と野生生物との共生推進業務	7.4			
雑役務費	知床岬における外来種対策業務	2.4			
雑役務費	知床半島におけるエゾシカの植生への影響調査業務	3.8			
雑役務費	知床半島海岸ゴミ回収業務	25.9			
計		41.9	計		3.4
B. (株)大建産業			H. 特定非営利活動法人四国自然史科学研究センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	稚咲内海岸漂着ゴミ清掃業務	11.5	雑役務費	国指定剣山山系鳥類保護区におけるニホンジカ対策調査業務	3.4
			雑役務費	国指定剣山山系鳥類保護区ツキノワグマ等保護監視調査業務	3.4
計		11.5	計		6.8
C. (社)十和田湖国立公園協会			I. 天草地域森林組合		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	十和田八甲田地区清掃活動業務	1.7	雑役務費	天草松島の森林保全・再生業務	2.2
計		1.7	計		2.2
D. 特定非営利活動法人小笠原クラブ			J. (株)南西環境研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	西之島における漂流・漂着ゴミ回収及び処分等業務	12.4	雑役務費	沖縄島北部地域ジャワマングース等防除事業業務	5.7
計		12.4	計		5.7
E. 丸文工業(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	伊勢志摩国立公園沿岸清掃業務	6.5			
計		6.5	計		0.0
F.					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	(*各支出先については全て百万円以下である。)				
計		0.0	計		